

愛媛新聞(11月23日)に掲載されました。

環境配慮の医療施設アワード 松山赤十字病院が金賞



省エネなど環境に配慮した取り組みで国際賞の金賞を受賞した松山赤十字病院
—22日午前、松山市文京町

省エネ・CO₂削減に高評価

環境に配慮した医療施設に贈られる国際病院連盟賞「IHFAアワード2022」のグリーンホスピタル部門で、松山赤十字病院(松山市文京町)が金賞に輝いた。病棟などに最先端の技術を導入し、従来の医療環境を保ちながら省エネルギーや二酸化炭素(CO₂)の排出量削減の効果を高める取り組みが高い評価を受けた。

松山赤十字病院では、2021年に完成した南棟の南側を二重窓ガラスにし、間の空気を暖めることで生み出したエネルギーを空調の動力に活用。窓の外側には格子状のルーバーを設置し、季節に応じて採光量が調節できるようにした。調

理室で使用した水や雨水をトイレの洗浄水に再利用する設備も導入し、国内の平均的な病院に比べ25%以上の省エネを達成している。

同病院では旧病棟などの老朽化に伴い、14年から「環境に優しい病院」を掲げて新病院の整備を進めている。西崎隆院長(68)は「松山赤十字病院で成功した先端技術の導入が、県外の病院にも広がっている。世界に誇れる施設が身近にあることを知ってもらいたい」と話した。

賞は15年に創設され、今回は7部門に国内外の約400病院の応募があり、このうちグリーンホスピタル部門には約50病院の応募があった。松山赤十字病院によると金賞は国内初で、アラブ首長国連邦(UAE)のクリープランドクリニック・アラビと同時受賞した。(杉本賢司)